



益城平野一面を緑にそめる水田地帯



益城町

# 議会だより 清水

せい すい

平成23年(2011) 3・6月議会 合併号 No.44



6月の薔薇 私がいちばん

新年度予算を審議

定住化促進住宅建設補助金について

3月議会一般質問

新議会構成決まる

町政を問う

6名が登壇

広報研修記・新広報委員紹介

組合議会からこんにちは

昔を語る「日奈久修学旅行の悲劇」(4)

汗・涙・感動⑦(クラブ紹介)

P2~5

P6~7

P8~9

P12~17

P18

P19

P20

# 一般会計

# 99 億 2,788 万 8 千円

## 3月議会

### 厳しい財政状況のなか思いやり予算

#### 定住化促進住宅建設補助金

定住化促進住宅建設補助金については、定住を目的とするため、交付要件として3年以上住むこと、対象地域は飯野、福田、津森地区とし、住宅を新築または、購入（中古住宅を除く）し、居住した時点で同居する中学生以下の扶養親族を有する方を対象としています。

補助金の支給時期については、交付決定日から半年後に基本額の半額50万円と加算額、3年後に基本額の残り50万円を、それぞれ交付するとしています。

#### 地域活性化対策家賃補助

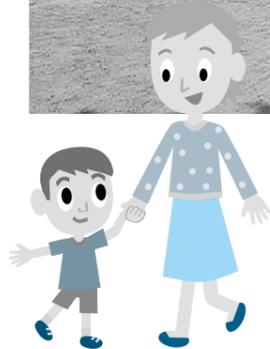
家賃補助については、少子化の防止と地域の活性化を目的とし、飯野、福田、津森地区の賃貸住宅入居者で、同居する小・中学生を有する方については、実質家賃の2分の1を上限として補助を行うことになっていきます。

#### 定住化促進住宅建設補助及び賃貸住宅家賃補助

貸付の制度も、期間を5年（平成23年度～平成27年度）としています。



総合福祉センター（仮称）建設予定地 広安校区グラウンド



#### 保育所緊急整備事業補助金1億1,400万円は保育所の新設なのか。

待機児童については、依然として保育所ニーズが高い状況にあり、平成23年度当初から40数名程度の待機児童が予想される。待機児童解消のため国の補助金を有効活用し、保育所整備を検討していたところ、あじさい幼稚園の敷地内に60人から100人規模の認可保育所を建設したいとの話があり、協議を行っている。

## 東日本で大震災発生 想像を絶する大津波により甚大な被害

3月11日14時46分、宮城、岩手沖を震源地とするM9の大地震が発生、その30分後には、15メートルはあったであろう大津波が、東日本一帯におしよせ甚大な被害を与えております。さらには追い打ちをかけるように東京電力の福島原発による放射能漏れ、復旧のめどさえ立っていないのが現状です。

地震発生時、議会は会期中であったが直ちに義援金を送ることを決定、議会最終日に益城町、町職員、議会それぞれ熊日本社に義援金を届けました。被災地においては、一日も早い復旧・復興を願っております。また震災により亡くなられた方々に哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心からの見舞いを申し上げます。



## 3・6月定例会

4月の町議会議員選挙のため、44号は3月、6月議会の合併号となります。

## 平成23年度予算を可決 総額 188億1,363万1千円

平成23年第1回定例会が、3月8日～3月15日までの8日間開催され、新年度一般会計予算は99億2,788万8千円のほか、国民健康保険、介護保険、上・下水道などの特別会計予算も決まりました。6月議会では、コンビニ証明発行サーバ改修委託料などの補正予算を審議し、可決しました。

#### 23年度一般会計主な収入

単位：千円						
町税	地方譲与税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	財産収入
3,142,672	86,000	212,856	164,340	1,171,704	778,530	38,681
地方交付税	その他の交付金	繰入金	繰越金	諸収入	町債	
2,130,000	397,700	690,000	300,000	49,705	765,700	

#### 主な支出

単位：千円						
議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費	商工費	土木費
152,526	1,135,540	3,328,553	866,431	301,105	44,109	1,552,123
消防費	教育費	公債費				
413,795	1,314,322	786,161				

### 3・6月議会での主な議案への賛否の状況

#### 《3月議会での主な議案への賛否の状況》

事件名	結果	坂本 貢	福永 哲雄	坂口 政弘	石田 秀敏	寺本 英孝	江越 信保	竹上 公也	福永 誠一	坂田みはる	森上 祐一	西山 隆文	稲田 忠則	北村 一成	松本 邦茂	荒牧 昭博	中山 清隆	山内 親宣	中村 健二	渡辺 誠男	
平成22年度一般会計補正予算(第3号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成22年度住宅新築資金等貸付特別会計補正予算(第1号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度一般会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度土地取得特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度住宅新築資金等貸付特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度国民健康保険特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度介護保険特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度後期高齢者医療特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度公共下水道特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度農業集落排水事業特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—
平成23年度水道事業特別会計予算	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
国民健康保険条例の条例改正について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
中小企業店舗新築、改装、設備事業、工事機械導入及び駐車場施設融資金利子補給の条例改正について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町民運動場の設置及び管理に関する条例の改正について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
公園整備基金条例の制定について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
消防団に関する条例の改正について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成22年度一般会計補正予算(第4号)	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町議会委員会条例の改正について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議員報酬及び費用弁償に関する条例の改正について	可	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

#### 《6月議会での議案への賛否の状況》

事件名	結果	野田 祐士	高橋津代美	宮崎 金次	坂本 貢	甲斐 康之	寺本 英孝	坂口 政弘	石田 秀敏	江越 信保	中村 健二	坂田みはる	森上 祐一	稲田 忠則	荒牧 昭博	渡辺 誠男	山内 親宣	竹上 公也	福永 誠一		
平成23年度一般会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成23年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
熊本県市町村総合事務組合規約の変更について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
公有財産の取得について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ×：反対 欠：欠席 裁：議長裁決 可：可決 否：否決 棄：棄権



## 3・6月議会

### ご意見番

ひびくつ 言わせて

益城中央小学校の解体工事費が、7千万円の大幅な減額となっているが、その理由は。

当初の予算では、プール解体などすべてを見積もりに入れていたが、プールは子供たちの遊泳場所として残し、また校舎基礎部分の杭は抜かずにそのままにしておくことで、大幅な減額となった。

子ども医療費1,060万円の増額補正は、インフルエンザなどの流行によるものか。

増額の主な要因は小学生以下の対象者が、平成22年の4月初旬3,852名だったのが、現在4,168名と334名の増加があり、このことが医療費



潮井公園にてひと時の涼を楽しむ

の増加につながったと思われる。

公園整備等設置工事で461万3千円の減額はなにか？

木山城址公園及び益城中央公園の改修工事が、安価でできたために入札残である。

委託料については、基本設計、実施設計それに測量設計と不動産鑑定料が含まれている。飯田山の工事については、駐車場、トイレ、案内板や展望所など。

一部二階建て若しくは全部二階建ての木造で予定しているが、一部鉄筋ということも視野に入れる、基本設計をやっている。



町営住宅辻団地

新しいグラウンドについては、なるべく早い時期に用地の選定、建設内容について検討を進めて行きたいと考えている。

町営住宅の長寿命化計画策定委託料は昨年も計上され、また今年も計上されているが、まだ工事が終わっていないのか。

国庫補助が45パーセントの事業で、補助金を受けるために、22年度で辻団地の外壁劣化調査、23年度で市の後

広安西小学校は6教室増築で予算計上してあるが、このまま増築で進めるのか。

検討委員会でも多くの意見をまとめ、あらゆる角度から将来に向けた教室不足に対する協議検討を行っている、その中で増築の件については、方向性を出す予定でいる。



江越 信保議員

飯田山頂の公園整備

江越 飯田山頂の地上権利に伴い、今後公園整備に取り組むに当たっては、町内外の方が憩いの場として、訪れるために、将来夢のある大きなビジョンをもって取り組む必要がある。

町としての将来像はどのように考えているのか。

町長 「地域活性化交付金」

「地域活性化交付金」を利用して、潮井公園とあわせて取り組む。山頂の公園化については現在具体的にどこをどうするなどの決定はしていない。多くの町民の声を聞きながら、できるだけ短い期間で、できることを、そして自然を大事にしながら取り組んでいく。

高齢化に伴う介護問題

江越 お年寄りが相方を介護している状況を、「老老介護」という。

また親の介護のため仕事を辞めた夫婦もおられる。現在特別養護老人ホームが広安校区と福田校区の2箇所建設が予定されている。このような方のためにも施設の建設は大変ありがたい。今後このような施設の建設予定と、入居者の予定はどうなっているのか。

町長

当町において、現在特別養護老人ホームの待機者は204名。家族の介護負担は年々増大している。

益城病院経営の「花へんろ」は定員50名に対し、30名。福田校区の施設も同等であり、二つの施設によつて約60名程度の待機者が解消される見込みである。今後「ひろやす荘」も新築移転の計画であり、この他に寺中、馬水地区にも地域密着型の施設が整備されている。



石田 秀敏議員

岩戸川下流域を桜ロードとしての公園化を図れないか

石田 飯田山公園整備については、今後の取り組みが示され、いよいよ公園化がスタートする事になるが、この公園計画にあたっては町民の幅広い意見を聞きながら進めること、特に関係地域の意見も、十分参考にさせていただき計画を進めてもらいたい。

益城町の中央部を南北に横断する県道益城菊陽線、これの岩戸橋から新川橋間の路側帯は幅が広く、地域の方々の朝夕の散歩道ともなっている。しかし現在は、大型車両や普通車両の長期車庫代わりに利用されている。ほとんどが地域外の手車であり、防犯



岩戸川下流域路側帯

上も好ましくなく苦情が出ています。そういうことで、この区間を「桜ロード」として飯田山公園化と一体化して公園化できないか。

町長

桜を植樹する場合は施工承認許可か廃道敷地として町が公園として管理する手続きが必要になる。旧道路を廃道敷地とする場合は河川管理道路をひとつび確保する必要があり、旧道の地権者の同意を得る必要がある。県との協議が必要となりハードルは高いが、地元と一緒に施設の有効活用について研究をしてみたいとおもう。



中村 健二議員

節約による財源確保

中村 町は、町民の皆さんから預かった税金をいかに町運営に、そして住民サービスに使用していかれるかだと思っている。

営利企業でない町がお金を稼ぎ出すためには、節約しかないと思っている。そこで節電に抜群の効果を発揮するLED電球に切り替えることを考えてはどうか。

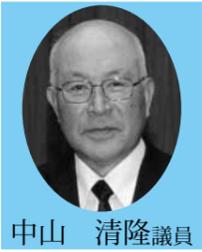
LED機器の寿命は4万時間と長寿命であり、平成23年度に庁舎の耐震改修の工事予定があるので、その際にLEDについても具体的に検討してみたいと思っている。



LED電球 電球

節約による財源確保で「コミュニティバス」の運行を  
中村 区画整理事業が完成すれば商業施設もでき、そこに町内の人達を運び買物をしてもらうためにも、コミュニティバスが必要と思うが…

町長 持続可能な恒久交通の構築をめざし、新しいバスを購入するとか、公共交通関係等を検討しながら進めている。



中山 清隆議員

町民のための町政を！

中山 議員28年間の最後、一一一回目の一般質問を行う。

①県広報コンクールで連続グランプリをとっている「広報おおづ」は町民主役のすばらしいものだ。町長はいい口を出していない。ところが益城町では、文芸コーナー・俳句欄にまで町長が口を出し、町長が喜ぶ紙面づくりに傾いてきている。大津に学ぶべきだ。

町長 俳句欄は必要があつて改革した。いちいち指図はしていない。私が口を出しているなら、大津よりもっと立派な広報になっている。

②国保税引き下

町長 提案をしつかり受け止めたい。

げとコミュニケーションバスは、いつまでに実現するか。  
町長 中々きびしいが、実現の方向で検討したい。

③今重要なこと

中山 町の宝を生かした町づくりだ。益城町の最大の宝・農業をもっと大事に育てるべきだ。山本山の跡地などを利用して農産物加工場を作り、規格外の作物に付加価値をつけて販売すれば、雇用の場も新たに広がる。町が音頭をとったらどうか。

町長 提案の方向で、誘致も含め実現を図りたい。

中山 今、県内外で広がりが、喜ばれている。住宅リフォーム制度を町でも導入し、不況に苦しむ町内業者を激励してもらいたい。



坂田みほ議員

教育環境向上対策

坂田 小学生の保護者から、「地元の中学校へ進ませるかどうか、考える」、また、「教育環境では精神面において安心でき、勉強に集中できる環境を望む」といったことが聞かれる中、地元中学への進学率の現状と、教育現場における先生と生徒との信頼関係を築くための人づくりについて、町長と教育長の見解を伺う。

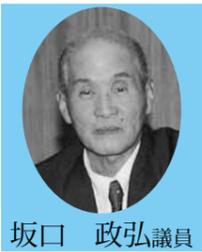
町長 益城に生まれ、益城の小学校を卒業したら益城の中学校に進学してもらいたいという希望はあるし、そうしなければいけないという思いもある。中学校の教育環境はものだけで出来るものではなく、やはり子ども

も同士、子どもと先生、先生と保護者、行政の心がいかにつながるかが大切である。

教育長 平成18年、木山中学校への進学率は95・5%の時、益城中学校が88・3%と落ち込んだことがあった。確かに生徒指導が大変だった時期と重なってはいたが、原因調査はしていない。

現在は、一人問題の子どもが発生すると、先生方が4、5人で説得しながら、落ち着かせて、いろんな指導を行っている状況である。教育は学校だけでなく、家庭や地域など社会全体で取り組んでいくことが求められている。地域の子どもは地域で育てるために、地域ぐるみの子育ての輪を広げていきたいと思っている。

町長 住宅定住化促進



坂口 政弘議員

農業問題について

坂口 農業の活性化を図るうえでTPP問題とどう向き合っていくか。また直売所の取り組みについてはどうか。

町長 TPPについては全国町村長大会において『絶対反対』とのろしを上げ、国に陳情を行った。直売所関係については、大事な産業であるからしっかりと心を留めて、色々な形で研究機関を設けて取り組んでいる。

公園整備について

坂口 潮井公園・飯田山の公園・四賢婦人記念館及び辻が峰公園の整備についてどう取り組んでいくか。

町長 公園整備のための予算を提案しているところである。地元の方々のご協力を賜りながら取り組んでいく。

少子化対策について

坂口 過疎3地区(飯野・福田・津森)の少子化対策についてどう取り組んでいくか。

町長 住宅定住化促進

# 各常任委員会の



福永 誠一 野田 祐士 中村 健二 稲田 忠則 高橋津代美 甲斐 康之

福祉常任委員会  
委員長 中村 健二  
副委員長 稲田 忠則

## 新しい議会の構成は 次のようになりました

(◎印=委員長 ○印=副委員長)

- 議長 福永 誠一
- 副議長 竹上 公也
- 議会選出監査委員 江越 信保
- 常任委員会
  - 総務 ◎江越 信保
  - ◎坂田みはる
  - 渡辺 誠男
  - 森上 祐一
  - 坂口 政弘
  - 宮崎 金次
  - 福祉 ◎中村 健二
  - 稲田 忠則
  - 甲斐 康之
  - 高橋津代美
  - 野田 祐士
  - 建設経済 ◎石田 秀敏
  - 荒牧 昭博
  - 山内 親宣
  - 竹上 公也
  - 坂本 英孝
  - 寺本 英孝
- 議会運営委員会 ◎竹上 公也
- 森上 祐一
- 山内 親宣
- 渡辺 誠男
- 稲田 忠則
- 中村 健二
- 江越 信保
- 坂田みはる
- 特別委員会 ◎中村 健二
- 坂田みはる
- 江越 信保
- 竹上 公也
- 甲斐 康之
- 野田 祐士
- 御船地区 衛生施設組合 稲田 忠則 中村 健二
- 益城・嘉島・西原 環境衛生施設組合 荒牧 昭博 渡辺 誠男
- 組合議会
  - 上益城広域連合 福永 誠一 竹上 公也
  - 益城町及び御船町 中小学校組合 江越 信保 石田 秀敏 寺本 英孝
  - 高遊原南消防組合 山内 親宣 森上 祐一

# 新しい顔ぶれ

## 5月の臨時議会で新議会構成決まる



後列：坂口 政弘 森上祐一 宮崎金次  
前列：坂田みはる 江越信保 渡辺誠男

総務常任委員会  
委員長 江越 信保  
副委員長 坂田みはる



寺本 英孝 山内 親宣 石田 秀敏 荒牧 昭博 竹上 公也 坂本 貢

建設経済常任委員会  
委員長 石田 秀敏  
副委員長 荒牧 昭博

スクラム組んで母づくり



# 6月議会 常任委員会レポート



公園整備が期待される潮井水源



広安西小学校北側駐車場

## 大雨による災害箇所 の早期復旧を図れ

### 建設 経済



川内田林道支線土石流箇所



新川地内岩戸川右岸越流箇所

建設常任委員会で、付託された1議案について審査を行い、原案の通り全会一致で可決・認定した。

地番電子化作業業務委託について質疑があり、執行部より地番電子化を行うと業務の効率化が図られ、さらに町の他の業務においても幅広く活用できる旨の説明があった。

現場視察では、川内田林道支線災害現場、新川地内岩戸川右岸

越流箇所、惣領地区幹線排水路の3箇所を視察した。川内田林道支線災害現場については、早期復旧の要望があり、また赤井川については崩壊した土砂による閉塞防止のため、県に対し監視の徹底をはかって頂くよう要望があった。

岩戸川越流箇所については、出水時期の越流水の流末の処理対策を取ってもらうよう、県と協議を進めて頂きたいとの要望があった。さらに惣領地区幹線排水路については、排水路の法面改修を県と協議し、年次計画で進めてほしい旨の要望があった。

# 6月議会 常任委員会レポート

### 総務

## 地域の活性化と 子どもに対する 「特定住促進補助金」が交付される

総務常任委員会で、付託された2議案について審査を行い、いずれも可決した。

平成23年度一般会計補正予算のなかで、「特定住促進補助金交付事業」について「他の校区から転入した場合にも適用されるのか」との質問があった。

これは飯野、福田、津森地区の子育て世帯の定住を促進し、住宅の新築購入の費用を補助することにより、指定区域内の少子化の防止と地域活性化を図ることを目的とした事業であり、平成23年度から27年度までの5年間の範囲内において補助金100万円が交付されるものである。

益城町以外の市町村からはもちろん、他の校区からの転入で、同居する中学生以下の3親等以内の扶養親族を有すれば補助金が交付されるとの説明があった。

ただし、新築もしくは購入の決定から6ヶ月経過した日に50万円、3年経過した日に残りの50万円が支給される。また中学生以下の扶養家族についてはそれぞれ加算される。

現場視察では、広安西小学校の増設が検討されている予定地を視察し、今後は検討委員会で十分な検討を望むとの要望があった。

また潮井公園整備の予定地を視察し、アクセス道路等について考慮し、町の公園として町内外に誇れるように整備することを要望した。

## 住基カード普及の促進

## 用途に応じた福祉施設の充実

### 福祉



小規模多機能「あんず」視察状況



特別養護老人ホーム「花へんろ」視察状況

福祉常任委員会で、付託された議案について審査を行い、いずれも原案の通り全会一致で可決した。

益城町一般会計補正予算の中で、住基カードの発行状況や自動交付機による証明書等の交付状況についての質疑があり、5月末のカード発行枚数が3179枚で住民票は、自動交付機61件、コンビニが44件で利用率約10%との報告を受けた。

現場視察は、特別養護老人ホーム「花へんろ」と地域密着型サービス施設小規模多機能「あんず」グループホーム「津森倶楽部」を視察した。3施設とも入居者の身体状況に応じて配慮された施設となっていることを確認した。

また施設については、自然の風や太陽光をうまく取り入れる様になっており、また水を利用した空調設備を取り入れるなどの、自然エネルギーを活用し環境にも優しいものとなっていた。

一般質問



稲田 忠則議員

農振除外のため、町としてどう対応するか

全力を挙げて取り組む

広安校区のグラウンド建設を急げ

早い時期の完成を目指していきたい

地域再生道路を  
利用したまちづくり

**稲田** 地域再生道路の中で、更なる飛躍を目指すには、グランメッセ木山線の農振除外が第1の優先課題であり、これができるれば土地計画マスタープラン第5次益城町総合計画で提案してある全体構想の中での、土地利用方針が崩れて何も出来ない。それを打破するには、町議会、町民が一体となって、国、県に請願あるいは陳情を繰り返し行っていく必要があると思う。

**町長** グランメッセ木山線沿線については、益城台地土地区画整理事業を核とした、西の拠点から続く住民ニーズに即した新たな市街地を形成するゾーンと考えている。沿線に係る土地利用等の規制等の洗い出しを行い、農振除外を含む各種の問題を解決し、よりよい土地利用ができる方策を検討している。この市街化調整区域や農振地域をクリアするには、並大抵の努力では出来ないと思っ

ている。執行部としても、熱意をもって全力を挙げて取り組んでいきたいと考えている。



グランメッセ木山線

広安校区の  
グラウンド建設

**稲田** 町が計画された総合福祉センター建設の候補地が広安校区グラウンドに決定し、平成25年4月オープンに向けて今後計画が実施されるとの説明を受けた。そこで広安校区の方々からは、新規の広安校区のグラウンドを造ってもらいたいとの声が多く聞かれる。今回は多目的な利用ができる運動公園として整備を行い、グラウンドと公園を兼ね備えた施設として計画は出来ないか。

**教育長** 確かにグラウンドだけでなく運動公園として、木陰や芝生広場などの空間もあれば、住民の憩いの場になるが、予算等の問題もあり、しっかり検討したい。新たに建設するグラウンドは、グラウンドゴルフや少年野球などが十分できる面積を想定しており、少なくとも1万平方メートル以上の面積

が必要と考えている。完成予定については、建設場所により、用地交渉の期間、あるいは農振除外等の要件も変わってくると思うので、現時点では明確に確定出来ない。しかし、現在計画中の総合福祉センターが、平成24年度中に着工予定となっているので、利用者に迷惑をかけないように早い時期の完成を目指していきたいと思う。



広安校区グラウンド

一般質問



江越 信保議員

避難所の防災機能強化及び生活必需品等の備蓄を

防災倉庫、食料、水、生活必需品等の備蓄をいかにするか検討する

被災者支援システムの活用を検討してはどうか

早急に検討し、加入に向かって取り組む

学校・公共施設に対し  
緊急避難物資の備蓄を

**江越** 災害弱者といわれる高齢者や体の不自由な方が逃げ遅れて被災されることのないよう対応を訴えてきたが、避難所として、災害時における学校施設が果たす役割は大きい。緊急時の避難場所として62%が学校施設であり、教育の場であるとともに、災害時の避難所となる学校、体育館は耐震の確保のみならず、食料や水、生活必需品等の必要物資の備蓄、情報提供など住民の避難所として十分な機能が確保できるように普段から整備しておく必要がある。今回東日本の災害は、救援体制が整うまでに数日を要した。このことから最低日数分の避難生活に必要な諸機能と、物資の備蓄を平時から確



マンホールを利用した緊急トイレ



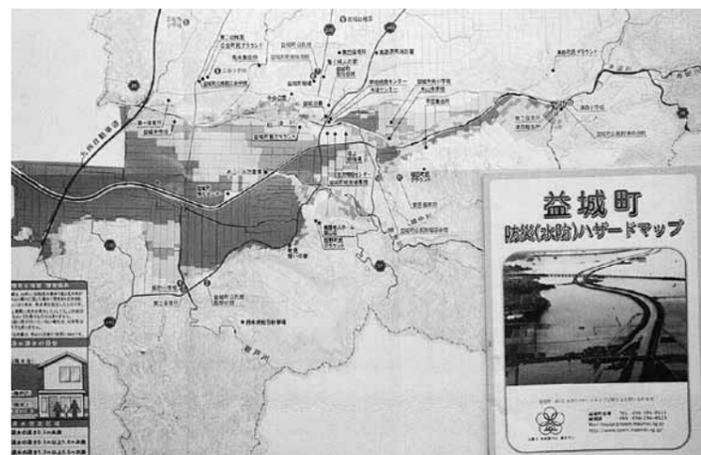
緊急避難所に指定されている施設「広安西小学校」

保し、住民の安心・安全に備えるべきである。当町の状況はどうか。

**町長** 当町には現在物資の備蓄はない。日赤等からの支援を考えていたが、今回の東日本の大震災を考えると、日赤の防災計画と提携するだけでは町民の安心・安全は守れない。今後、防災倉庫、食料、水、生活必需品等の備蓄をいかにす

被災者支援・復旧に迅速に対応  
支援システムの活用を

**江越** 被災者支援システムは役場などが被災した場合でも、被災者支援、復旧に迅速に対応できることから、総務省も活用の促進を進めている。災害発生において、行政の迅速な被災者支援は不可欠であり、被災者状況を把握し、被災者証明の発行から支援金や義援金の交付、物資の管理などが一元的に行えるな



各家庭に配布された、防災ハザードマップ

ど、円滑な行政サービスの提供が可能になる。町民の大事な生命と財産を守る観点から加入を検討するべきでは。

**町長** このシステムは阪神大震災の折に、その悲痛な災害状況の中から考え検討した結果、出来上がったと伺っている。町としても早急に、どのような形で加入できるか検討して、加入に向かって取り組む。



宮崎 金次議員

町の防災体制は

宮崎 3月11日に発生した東日本大震災にかんがみて、①我が町の地域防災計画の前提となつての被害見積り。②東日本大震災クラスの地震が発生した場合の、町の災害対策本部の組織及びその活動。

③地域防災計画等の見直し及び訓練の予定。以上3点について尋ねる。

私は、阪神・淡路大震災等の経験から、大災害が発生した時、被災住民の生命・財産を守り大きな役割を果たすのは、被災地域の地方自治体(市町村)であり、この観点から、現在の計画では大災害に対処するのは困難であり、何よりこの計画での訓練がなされていない。更に、計画の前提となる災害対象の範囲(大雨・地震・航空機事故・山林火災・阿蘇山噴火・熊本空港の燃料タンク)等からの被害など全てを考慮して、あらゆる災害に一応対処できる計画とその訓練をしておく事が、町民の「安心安全」を確保するために必要であり、よろしく願いたい。

町長 益城町地域防災計画は、熊本県の防災計画をもとに水害、火災、台風、地震等、地震は震度6弱等の災害を想定し、その予防、応急対策及び復旧の万全を図り、町道の保全、町民の生命・身体及び財産を災害から保護することを目的として計画されている。今後東日本大震災の教訓を踏まえ、町で起こり得る被害について再点検し、大規模かつ広域的な災害についての町の対応態勢や住民避難体制等を中心に、地域防災計画の見直しが必要だと考える。



広がる住宅街

行政の懸案事項について

宮崎 熊本市との合併を拒否した我が町の町長として、真に自立可能・持続可能な益城町をつくるための心掛けと、現時点での懸案事項についてどのように考えるか。

町長 これまでの成果、時代の潮流や時代の展望、今後のまちづくりの主要課題を調査・分析して、今後10年間の町の指針を平成23年3月に益城町総合計画として策定した。今後この計画の基本理念に基づき、「日本一住みやすい町づくり」の実現のため工夫と努力をして行く。次に懸案事項として、平成22年の国勢調査から、町の人口は5年前より90人の減少となっており、人口は地域の勢いを示すバロメータといわれており、何とか人口の減少に歯止めを掛けたい。更に、高齢化社会に対応した地域密着型のサービスの充実、子育て日本一を目指した子育て支援の推進、雇用創出のための企業誘致、西の拠点である土地区画整理の実現、新たな公園の整備等を実施していく。

益城町の防災体制について見直し、訓練をはかれ  
地域防災計画の見直しを行う

これからの町の行政について自立、持続可能な町づくりを行うべきである  
日本一住みやすい町づくりをめざす



仙台南港付近・津波襲来

町長 益城町には、布田川・日奈久活断層が走っている。地震を含めた町の防災対策が住民参加の会議になっているか。災害時に備えて生活必需品などの備蓄がされているか。避難場所の周知と表示、避難箇所の再検討が必要ではないか。

防災対策

町長 防災計画書は、多くの方々の意見を交換して作成している。備蓄については、していないので対応を検討したい。防災マップ、避難場所などについては、改めて再検討していきたい。



増水した河川横の津森公民館付近

選挙違反問題

町長 今回の町議選挙において、区長(囑託員)が候補者を連れて訪問し、随行車に乗っていたと聞いている。区長は地位利用による選挙運動はできない。

総務課長 戸別訪問は、違反となる。囑託員は、地位を利用して選挙運動は出来ない事になっているが、地位の利用というのが解釈上難しい。

国保税の引き下げ

町長 高すぎる国保税は全国どこでも大問題になっている。国保は、国民に医療を保証する社会保障制度である。不景気等により、所得が減少して「払いたくても払えない」こんな方が大勢おられ、益城町の国保税の収納率は低下し、県下では4番目に低い。滞納世帯率は、熊本市に次いで2番目に悪く、3割の世帯が滞納している。低所得者の方々が滞納している中で、滞納者に対する差し押さえを

町長 収納率は低下し、滞納世帯も増加している。原因は、所得の低水準などに見ている。滞納は、税負担の公平性の観点からも放置できない。財産調査による差し押さえの強化を図り、収納率の向上に努めたい。国保会計は、単年度では赤字になっており、引き下げは考えられない。昨年は、国保税の値下げをした。私の気持ちとしては、更にそういうふうにしていきたい。しかし、今後は引き上げも検討しなければいけないと考えている。



甲斐 康之議員

住民参加の防災対策を

防災対策計画は、改めて再検討していきたい

区長の地位利用による選挙運動は違反

地位利用というのは、解釈上むずかしい

国保税をさらに引き下げよ

引き下げは困難



わかりにくい避難箇所表示板



野田 祐士議員

益城台地  
区画整理事業

**野田** 益城台地開発については、12年ほど前に熊本県より65ヘクタールを特定保留地として指定を受けながら家一軒も建てられていないのが現状である。この間、人件費や環境アセスメント費用等の土地区画整理事業費として約2億円の事業費が支出されているにも関わらず、進展が見られないのは町の発展を阻害する一因となっていないか。今後、事業を進めるうえでどのような問題を解決していくか伺いたい。

益城台地開発問題について  
着実に進捗・技術的支援とスピード感を持って取り組む  
木山交差点の渋滞解消について  
町の最重要項目と捉えて県に積極的に要望  
『すぐやる課』創設について  
プロジェクトチームで検討

**町長** 益城台地区画整理事業については、第5次益城町総合計画において最優先プロジェクトとして位置づけられた重要な事業である。しかし計画から十数年経過している。企業進出においては合併問題が起り頓挫した経緯



益城インター付近現地状況（町資料）

もある。平成21年5月に都市計画決定、同年9月には益城台地西土地地区画整理組合が設立され、6月には益城台地中地区区画整理組合が設立されるなど少しずつではあるが着実に進んでいる。組合が事業主体だが、この事業が将来性を見据えた公共性の強い事業であることから、益城町としても技術的支援など最大限の支援を引き続き行っていきたいと考えている。

木山交差点の  
渋滞解消

**野田** 木山交差点については慢性的な交通渋滞が発生している。町の重要路線である役場前の道路が渋滞し、来庁される町民の方々にも非常な不便を被っている。合併協議の折、県道熊本高森線の歩道設置を含めた木山交差点改良事業として数十億円をかけて整備する計画があったと聞いている。県の事業でもあり県財政の厳しさから難しい状況ではあるが、要望・陳情活動は引き続き議会も一緒にやり行っていくことが必要と思われる。単独の町作りを進めることになった当町では膨大な事業費はかけられないと思うが、町で出来る渋滞解消に絞った改良策は何かできないか。

**町長** 熊本高森線の木山交差点については、朝夕を問わず慢性的な渋滞が発生しているのは承知している。県の管理道路であり、これまでも再三にわたり県に対し改良工事の要望を行っているが実現しないのが現状である。このような状況の中、木



木山交差点渋滞状況

『すぐやる課』

**野田** 住民ニーズがますます多様化してきているなか、適切・的確そして迅速な対応が出来るような業務執行体制づくりとして『すぐやる課』創設の考えはないか。

**町長** 現在、行政改革の一環として庁内プロジェクトチームにより組織及び事務の見直し作業を行っている。一つの課題として検討する。

自主防災組織結成の推進を図るには  
どのような方向づけが必要か

先進地の事例を参考に、改めて調査・研究を行い推進したい

災害弱者の方への現場対応プランはたっているか

本年度中に避難個別支援計画を作成したいと考えている



坂田みはる議員

防災のまちづくり

**坂田** 阪神淡路大震災や、東日本大震災、また熊本県内においては、平成15年7月20日に起きた水俣玉川内地区の土石流災害で、自主防災組織が結成されている地区と、されていない地区とでは、避難状況の違いが発生しているとの報告がある。

また、自主防災組織が結成され、常日頃からの活動によって養われる防災意識の高さが、災害時の行動に反映されるとの報告もある。これらの教訓から、当町においても自主防災組織の結成は是非とも必要と考える。

第5次益城町総合計画「E-プラン計画」に基づいた自主防災組織の推進とは、どのようなプランで実施をするのか、時期と方向づけについてたずねる。

**町長** 大規模な災害が発生した場合、被害防止または軽減をはかるには、災害に直面する住民の自主的な防災活動が必要となる。

住民自らが出火防止、初期消火、被災者の救出、救護、避難などを行うに当たり、地



整備された秋津川堤防

域住民が組織的に行動することによって、その効果が最大に発揮できると考えられる。

そこで、区長、消防団を通じて住民の防災意識の高揚を図り、自分たちの地域は自分たちで守ろうという連帯感に基づき、自主的な防災組織が結成されるよう、先進地の事例を参考にしながら改めて調査・研究を行い推進していきたい。

**坂田** 町総合計画書の中で、優先プロジェクトにあげられている大規模災害時の要援護

者への支援として、一人暮らしの高齢者、重度の障がい者や要介護者等の災害弱者と呼ばれる人たちが、円滑に避難ができるよう、民生児童委員、消防団、ボランティア等との情報伝達体制を整え、要援護者の支援に向けた取り組みを実施するとある。

災害時に要援護者がどこにいるのか正確に把握する必要があるものの、個人情報保護法との絡みもあり苦慮する点も多いとは思いますが、そのようなことを踏まえた上で示された成果指標の災害時要援護者支援システムを、災害弱者の現場対応プランとして機能させるには、今後どのようなことが必要と考えるか。

住宅用火災警報器について



火災警報器

**町長** 聴覚障害2級以上をお持ちの方に、発信装置付き火災警報器及び聴覚障がい者用屋内信号装置を、本人申請による給付を実施しているが、今のところ、家族と同居されている方も申請はない。

今、あらかじめ地域住民同士で決めておく、地域ぐるみの助け合い制度である。要援

# 全国町村議会広報研修にて学ぶ

議会広報副委員長 坂田みはる

## 住民の知る権利・議会の

## 知らせる義務を大切に

議会広報特別委員会は、去る2月17日、18日の2日間、東京で開催された第73回町村議会広報研修会に参加しました。

これまでの、県広報研修会でいろいろなアドバイスを受けての議会広報誌作りでしたが、今回は全国レベルの広報誌研修とあって、更に充実の研修内容が用意されていました。

17日は、共立女子大学文学部半沢幹一氏の「広報文章の決め手は校正力」と題して講演があり、次にエディター(株)メディアブレン代表取締役吉村潔氏の「広報誌の企画とレイアウト」について、さらに日本写真家協会会員の川西正幸氏の「議会広報誌の撮影と表現方法」についてと、大変幅広い視点からの専門的な講演内容でした。

半沢氏の講演からは議会広報を刷新するために15の提案が出されました。中でも議会報告の問答形式による議会の再現をやめ、ト

ピックとコメントの関係にすることや、「学校用教材になる企画を考えよう」等は、議会広報誌がより町民にとって身近な存在になるための今後の課題となりました。

翌日は、広報コンサルタントの深沢徹氏による議会広報タリニックでの研修となりました。

今回は、事前に秋田県三郷町をはじめ5町村がタリニックを希望しており、その議会広報誌について評価の基準となる3要素に基づいての批評とアドバイスが丁寧に行われました。



住民の知る権利・議会の知らせる義務といった公開度の重要性や住民参加の企画など今後の「清水」編集に更に役立てたいと思う研修となりました。

新しい議会広報委員を紹介します

## 新選挙管理委員決まる

平成23年6月29日に益城町選挙管理委員会委員(補充員)が改選となり、新しい選挙管理委員(補充員)に次の方々が選ばれました。

- |        |       |
|--------|-------|
| 選挙管理委員 | 補充員   |
| 瀬口 平次郎 | 山本 政明 |
| 野田 義明  | 松本 浩一 |
| 吉永 正人  | 市村 克巳 |
| 川端 孝一  | 野田 幸一 |

## 新しい議会広報委員を紹介



- |       |       |       |       |
|-------|-------|-------|-------|
| 江越 信保 | 竹上 公也 | 甲斐 康之 | 中村 健一 |
| 野田 祐士 | 坂田みはる | 委員長   | 副委員長  |

# 組合議会からいんげんは!!

## 各組合議会とともに、新組合議員が選出されました

### 益城町及び御船町 中小学校組合

組合議会は、6月3日益城町において開催されました。今回は両町共に議会議員の改選があり、新たに組合議員が選出されたことに伴い、議長に田端幸治議員(御船町)、副議長に石田秀敏議員(益城町)が選出されました。その

他、現在中学校が閉校中であるが、来年度になると1名の新入生徒がおり「再び開校するのか、現在7名の小学生も併せ近隣の小学校に併合するのか真剣に討議する時期である」との意見が出されました。住民や保護者の意見を交えながら、今後検討を進めなければならぬ時期に来ている事は確かです。

### 御船地区衛生施設組合

組合議会は、6月24日第一回組合議会臨時会を開催し組合議員の改選が行われました。議長に池田浩二議員(御船町)、副議長に本田金男議員(嘉島町)、監査委員に高木伸一氏(嘉島町)、中村健二議員(益城町)が選出されました。

### 益城・嘉島・西原 環境衛生施設組合

組合議会は、5月27日臨時会が開催され、議長、副議長の改選と監査委員の選任が行われました。議長に木下徹議員(嘉島

町)、副議長に宮田勝則議員(西原村)が選出されました。

### 高遊原南消防組合

組合議会は、2月24日定例会を開催し平成23年度一般会計予算を可決しました。7月7日に定例会を開催し、決算が認定され、議長に森上祐一議員(益城町)が選出されました。

## 編集 後記

▼平成23年益城町議会は改選の年を迎え新議員4名が誕生しました。この町に新風を期待したいと思えます。▼3月11日、日本列島は世界最大規模の東日本大地震に見舞われました。阪神淡路大地震の1000倍という巨大地震でした。犠牲者の皆様へは、議会一同哀悼の意を表します。日本列島が経済低迷期を抱えたままの状況の中の自然災害でした。日本の屋台骨をしっかりと支え直さなければなりません。▼清水のメンバーも新議員2名が新たに交替し、人間味あふれる議会広報として、今号より全委員編集に奮闘しています。今後とも、町民の皆様が議会の状況を誠心誠意分かりやすくお知らせしてまいります。(文責 竹上 公也)

## 議会の動き

- 2月 1 「くまもと春の植木市」開会式
- 1 熊本県町村議会議長会定期総会
- 4 議会広報編集特別委員会
- 7 高遊原南消防組合消防署西原出張所建設検討委員会
- 8 市街化調整区域の活性化促進を求める要望活動
- 16 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会
- 17 議会広報編集特別委員会研修(東京・18日まで)
- 21 高遊原南消防組合消防署西原出張所建設検討委員会
- 22 総合計画審議会
- 23 上益城広域連合議会定例会
- 24 御船地区衛生施設組合議会定例会
- 24 高遊原南消防組合議会定例会
- 3月 3 議会運営委員会
- 3 全員協議会
- 8 第1回益城町議会定例会(15日まで)
- 24 郡臨時議長会議
- 4月 24 益城町議会議員選挙日(議員定数19→18)
- \*任期 H23.4/30 ~
- 28 初議会前の議員協議会
- 5月 10 第1回臨時議会
- 13 郡臨時議長会議
- 15 [阿蘇くまもと空港・テック/周辺] ジョギングフェア
- 16 第36回町村議会議長・副議長研修会(18日まで)
- 23 上益城広域連合議会臨時会
- 24 熊本県町村議会議長会議長研修会
- 24 九州横断自動車道延岡線建設促進期成会総会
- 25 高遊原南消防組合議会事務連絡会議
- 27 益城・嘉島・西原環境衛生施設組合議会臨時会
- 九州横断自動車道延岡線建設促進期成会理事会
- 31 九州横断自動車道延岡線建設促進期成会
- 熊本・宮崎両県合同理事会
- 6月 3 益城町及び御船町中小学校組合議会臨時会
- 9 議会運営委員会
- 9 全員協議会
- 14 第2回益城町議会定例会(20日まで)
- 熊本県町村議会議長会臨時総会
- 24 御船地区衛生施設組合議会臨時会
- 30 議会広報編集特別委員会

### 6月定例会 傍聴者数

1日目 14日(火).....	9名
2日目 15日(水).....	26名
最終日 20日(月).....	4名
合計.....	39名
常任委員会 (16日・17日)	



### 議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 中村 健二 |
| 副委員長 | 坂田みはる |
| 委員   | 江越 信保 |
| 委員   | 竹上 公也 |
| 委員   | 甲斐 康之 |
| 委員   | 野田 祐士 |

# 日奈久修学旅行の悲劇 (4)

事故の翌6日、緊急の臨時村議会が開かれ、合同葬を8日午後3時から、津森小学校庭で行うことなどが決められた。

8日は、犠牲者を悼むかのような冷たい雨の中で、葬儀が行われた。遺影の前は村民から届けられたお菓子や生花が供えられた。

葬儀には、遺族をはじめ、全校児童と村民、県や村の関係者など、400名が参列した。会場は、次々に述べられる弔辞の中、すすり泣きで覆われた。中でも同級生・大矢野澄代さんの「あなたたちの分まで働いて、世の中のお役に立ちたい」という弔辞は参列者の涙を誘った。

津森小学校では、現在でも毎月「5」のつく日は、人命の尊さを訴える「学校安全の日」と定め、全校集会が開かれている。

また、平成17年(2005年)には津森小学校からの呼びかけで、日奈久小

学校との間に交流が始まり、平成18年には当時の事情を知るおじいちゃん、おばあちゃんを日奈久に招いてお話を聞く機会もつくられている。(終わり)

——中山記



村民葬を伝える当時の新聞

津森小の児童たち (日奈久町で)



※関係者から、当時の村長は、宮尾村長だったという指摘がありました。今のところそれを裏付ける資料がありません。

## 汗・涙・感動 クラブ紹介 7

### 木山中学校

田植えが終わったばかりの田園に、秋津川を渡ってきたどこのかに青臭さを残した心地よい初夏の風が通りすぎていく。今回はその豊かな木山



次の勝利へガッツポーズ 女子バレーボール部

は「ご飯のおかわりが増えたりなど中学生らしい答えが返ってきました。また、一担当の先生が『自分たちで考え

中学校を訪ねました。

生徒数314名。校舎に入つてすぐ目につくのが、今年の卒業生が手作りで作成したという「四賢婦人」のモニユメント。どこかに温かみを感じる学校です。

ちょうど訪問した直前に、郡大会が行われており、女子バレーボールは昨年引き続き連続優勝。サッカー部は6年ぶりの優勝。そして男子ソフトテニス部も団体優勝。さらに空手部も準優勝の快挙に沸いており、7月に行われる県大会に向けて練習も熱気を帯びていました。

そうした中で、今回は優勝した女子バレー、男子サッカー、男子ソフトテニス部に話を聞くことができました。

どの部からもチームワークの中から「相手思いいややる心、お互いを信頼する心が生まれた」「家族との会話が増えた」中に



日焼け顔に笑顔が似合う男子ソフトテニス部



自信と気力に満ちたサッカー部

(取材 江越信保)